

令和 4 年度

地球温暖化対策計画・実施状況報告

1 地球温暖化対策事業者の概要

(1) 事業者の類別

類別	(類別の説明)
<b>Ⅲ類</b>	I類 A事業所のみを有する特定事業者
	II類 B事業所を有する特定事業者(Ⅲ類の事業者を除く)
	Ⅲ類 C事業所を有する特定事業者
	IV類 任意事業者

(2) 地球温暖化対策事業者

事業者名	シチズン時計株式会社		
所在地	東京都西東京市田無町六丁目1番12号		
事業者番号	0251		
燃料等使用量の原油換算の合計量 (前年度)	5,143	kL/年	
大規模小売店舗面積 <small>(単独で1,500kL未満で延床面積10,000㎡以上の事業所)</small>			㎡
産業分類名 (中分類)	32 その他の製造業		
分類番号 (中分類)	32		
事業活動の概要	事業内容		
	各種時計類及びその部分品の製造及び販売並びに持株会社としての、グループ経営戦略の策定・推進、グループ経営の監査、グループ技術開発及び知的財産の管理その他経営管理等		
	区分		
	企業		
前年度	資本金	32,648	百万円
	従業員数	17,044	人
商標又は商号 (連鎖化事業者のみ)			

（3）県内に設置している事業所

（自動転記）

事業所種別	事業所番号	事業所名	前年度の原油換算エネルギー使用量(kL)
A、Bテナント等事業所			
B、C事業所			
C	025101	シチズン所沢事業所	5,143
合 計			5,143

（4）公表方法

○	インターネット利用による公表	アドレス	<a href="http://www.citizen.co.jp/">http://www.citizen.co.jp/</a>
	事業所での備え置き (複数可。書ききれない場合は別様としてください)	閲覧場所 1	
		所在地 1	
		閲覧可能時間 1	
		閲覧場所 2	
		所在地 2	
		閲覧可能時間 2	
	その他		

（5）公表の担当部署

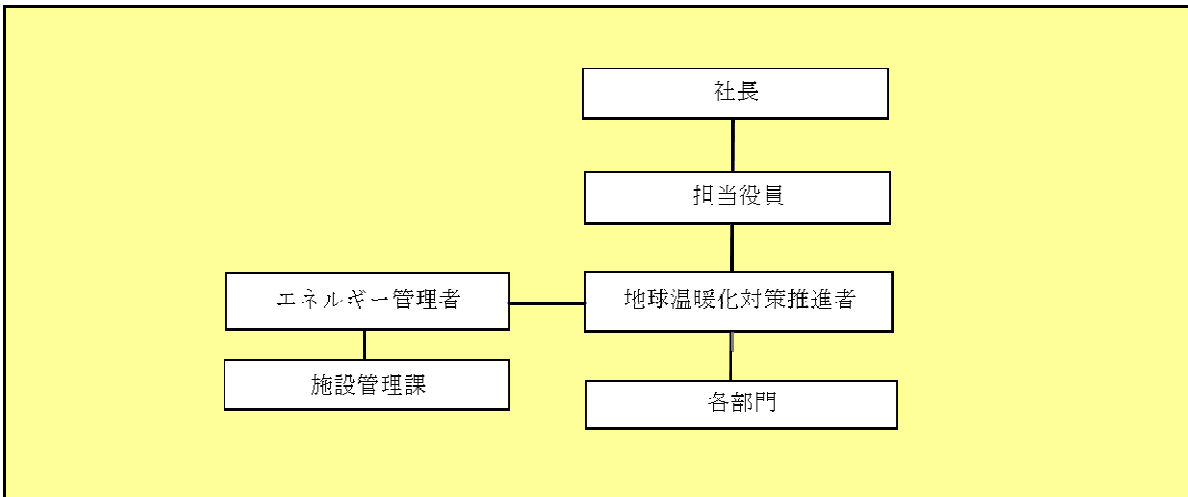
	名称 (複数可)	連絡先	
		電話番号	E-mailアドレス※
1	環境マネジメント室	042-468-4908	
2			
3			

※ 事業者のアドレスとする(個人が特定できるアドレスは記入しないこと)

2 地球温暖化対策推進における事業者の基本方針

「環境方針」抜粋  
 シチズングループは、「市民に愛され市民に貢献する」という企業理念に基づき、世界の人々と地球環境に配慮した事業活動を通じて、人々が心豊かに安心して暮らせる持続可能な市民社会に貢献します。  
 3) 事業活動における温室効果ガスの削減や省エネルギー化を推進することで、気候変動の緩和と気候変動への適応を図ります。

3 地球温暖化対策における事業者の推進体制



4 計画期間中における事業者の温室効果ガス排出量（事業所合算）の推移

CO<sub>2</sub>換算（t-CO<sub>2</sub>）

	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)
エネルギー起源CO <sub>2</sub>	9,625	10,121			
その他ガス					
温室効果ガスの計	9,625	10,121			

5 各事業所の計画

別紙 事業所の地球温暖化対策計画・実施状況報告 のとおり

令和 4 年度

事業者番号	0251	事業所番号	025101
-------	------	-------	--------

事業所の地球温暖化対策計画・実施状況報告

1 事業所の概要

(1) 事業所種別

事業所種別	C 平成20年度以降の3か年度(年度の途中から当該事業所の使用が開始された場合にあつては、当該年度を除く3か年度)連続して、年間原油換算エネルギー使用量が1,500kL以上の事業所(他の事業所の一部(区分所有部分、テナント部分等)である事業所は除く)
-------	---

(2) 事業所及び事業内容

事業所名	シチズン所沢事業所		
事業所所在地	市区町村	所沢市	
	字・地番	大字下富840番地	
産業分類名(中分類)	32 その他の製造業		
分類番号(中分類)	32		
事業活動の概要	事業内容	各種時計類及びその部分品の製造 従業員数：295名	

2 事業所の温室効果ガス排出量の削減目標

(1) 第3計画期間の削減目標

計画期間	2	年度	～	6	年度
削減目標	エネルギー起源CO <sub>2</sub> (必須)	基準排出量に対し、削減計画期間の平均削減率を20%以上とします。			
	その他ガス				
エネルギー起源CO <sub>2</sub> の削減目標の概要	排出可能上限量(計画期間合計)	59,396	t-CO <sub>2</sub>		
	削減目標量(計画期間合計)	14,849	t-CO <sub>2</sub>	事業所区分	第2区分

(2) 第4計画期間の削減目標

計画期間	7	年度	～	11	年度
削減目標	エネルギー起源CO <sub>2</sub> (必須)				
	その他ガス				

3-1 事業所の温室効果ガス排出量

(1) 原油換算エネルギー使用量の推移

原油換算エネルギー 使用量(kL)	計 画 期 間				
	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)
	4,892	5,143			

(2) 計画期間の温室効果ガス排出量の推移

CO<sub>2</sub>換算 (t-CO<sub>2</sub>)

	計 画 期 間				
	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)
	エ ネ ル ギ ー 起 源 CO <sub>2</sub>	9,625	10,121		
前 年 度 比 ( % )	—	5.2			
そ の 他 ガ ス	非エネルギー起源 CO <sub>2</sub>				
	メ タ ン				
	一 酸 化 二 窒 素				
	ハイドロフルオロカーボン				
	パーフルオロカーボン				
	六 ぶ っ 化 い お う				
	三 ぶ っ 化 窒 素				
温 室 効 果 ガ ス の 合 計	9,625	10,121			

(3) 計画期間の温室効果ガス排出量原単位の状況 (エネルギー起源CO<sub>2</sub>)

CO<sub>2</sub>換算 (t-CO<sub>2</sub>/指標)

	計 画 期 間				
	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)
	エネルギー起源CO <sub>2</sub> 排出量原単位	0.3654	0.3842		
前 年 度 比 ( % )	—	5.2			
活 動 規 模 の 指 標	単 位				
延床面積	m <sup>2</sup>	26,344.34	26,344.34		

(4) エネルギー起源CO<sub>2</sub>排出量の増減に影響を及ぼす要因の分析

令和2年度 (2020年度)	建物の床面積の増減	無	建物の用途変更	無	設備の増減	無
	<p>下記の理由により、CO<sub>2</sub>排出量が減少したと考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高効率熱源機器の更新（吸収式冷凍機 → モジュールチラー）により、ガス使用量が前年比20%減少。</li> <li>・コロナ禍における会社を取り巻く環境の変化に対応し、生産調整、一時帰休を実施したため。</li> </ul>					
令和3年度 (2021年度)	建物の床面積の増減	無	建物の用途変更	無	設備の増減	無
	<p>下記の理由により、CO<sub>2</sub>排出量が増加したと考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一昨年度のコロナ禍における、生産調整、一時帰休が無くなり、稼働日が通常通りに戻ったため。</li> </ul>					
令和4年度 (2022年度)	建物の床面積の増減		建物の用途変更		設備の増減	
令和5年度 (2023年度)	建物の床面積の増減		建物の用途変更		設備の増減	
令和6年度 (2024年度)	建物の床面積の増減		建物の用途変更		設備の増減	

3-2 温室効果ガス削減目標に係る状況

(1) 基準排出量

基準排出量	14,849	t-CO <sub>2</sub> /年
基準排出量の検証	実施済	

(2) 基準排出量の変更

	変更年度	変更量 (t-CO <sub>2</sub> /年)
1		
2		
3		
4		
5		

(3) 目標削減率

目標削減率の区分	第2区分
----------	------

(4) 削減計画期間

2	年度から	6	年度まで
---	------	---	------

(5) 年度ごとの状況

(排出量等の単位：t-CO<sub>2</sub>)

		令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	削減期間 合計
基準 排出 量 等	基準排出量(A)	14,849	14,849	14,849	14,849	14,849	74,245
	目標削減率の 緩和措置						
	トップレベル認定						
	目標削減率(B)	20.00%	20.00%	20.00%	20.00%	20.00%	
	排出上限量 ( $C = \sum A-D$ )						59,396
	排出削減目標量 ( $D = \sum (A \times B)$ )						14,849
実 績	エネルギー起源 CO <sub>2</sub> 排出量(E)	9,625	10,121				19,746
	削減率 ( $F = (A - E) / A$ )	35.18%	31.84%				—
	排出削減量 ( $G = A - E$ )	5,224	4,728				9,952
各年度の排出量の検証		実施済	未実施				

4 温室効果ガスの排出の抑制等に関する措置の計画及び実施状況

No	対 策 の 区 分			対 策 概 要	実施 予定 年度	実施 した 年度	推計 削減量(t) (1年度 当たり)
	区 番	区 分 名 称					
		大 区 分	中 区 分				
1	330200	空気調和設備・換気設備	33_加熱及び冷却並びに伝熱の合理化に関する措置	6号館地下第1変電所・2階測定室空調機更新	R1以前	R1以前	12.0
2	380700	照明設備	38_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	5号館3階図書室蛍光灯更新工事	R1以前	R1以前	1.0
3	380700	照明設備	38_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	構内外灯更新(LED化) 壁面蛍光灯	R1以前	R1以前	2.0
4	380700	照明設備	38_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	A館2階照明器具更新	R1以前	R1以前	1.0
5	380700	照明設備	38_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	6号館1階前室他照明器具更新	R1以前	R1以前	8.0
6	380700	照明設備	38_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	1号館地下・1階・2階共用廊下部分照明器具更新	R1以前	R1以前	19.0
7	380700	照明設備	38_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	構内外灯水銀灯整備(LED化)	R1以前	R1以前	10.0
8	330200	空気調和設備・換気設備	33_加熱及び冷却並びに伝熱の合理化に関する措置	A館2階空調換気設備更新工事	R1以前	R1以前	1.0
9	380700	照明設備	38_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	6号館1階クリーンルーム前室・資材搬入室等蛍光灯更新	R1以前	R1以前	4.0
10	380700	照明設備	38_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	6・8号館クリーンルーム内照明器具LED化更新	R1以前	R1以前	25.0
11	400200	給湯設備	40_加熱及び冷却並びに伝熱の合理化に関する措置	厨房用給湯設備改修	R1以前	R1以前	11.0
12	330200	空気調和設備・換気設備	33_加熱及び冷却並びに伝熱の合理化に関する措置	B館1階空調換気設備更新	R1以前	R1以前	7.0
13	330200	空気調和設備・換気設備	33_加熱及び冷却並びに伝熱の合理化に関する措置	高効率熱源機器改修(6号館) 吸収式冷凍機 → モジュールチラー	R1以前	R1以前	817.0
14	330200	空気調和設備・換気設備	33_加熱及び冷却並びに伝熱の合理化に関する措置	高効率熱源機器改修(8号館) 吸収式冷凍機 → モジュールチラー	R2	R2	513.0
15	330200	空気調和設備・換気設備	33_加熱及び冷却並びに伝熱の合理化に関する措置	高効率熱源機器改修(1号館) 吸収式冷凍機 → モジュールチラー	R6		513.0



## 5 事業者として実施した対策の内容及び対策実施状況に関する自己評価

（※希望者のみ記載）

自由記述欄

